

あめの季節に  
咲く花  
イメージした衛星

【あじさい】

きずだらけ  
力しぼって  
かえってきた

【はやぶさ・はやぶさ2】

スマートで  
白い体は  
電波誘導式  
ロケット

【N-II ロケット】

てんき予報  
どんどん当てるよ  
まかせてね!

【ひまわり (1号機)】

いろんな  
チャンネル  
増やしてくれたよ  
きれいな花

【さくら (1号機)・ゆり (1号機)】

くろいのは  
軽い素材の  
炭素繊維  
(カーボン)

【H-IIA ロケット】

せかい初  
スペース  
VLBI観測

【はるか】

とばしたよ  
世界で初めて  
ソーラーセイル

【イカロス】

うち上げた  
場所の名前  
(おおすみ半島)が  
ついてるよ

【おおすみ】

けいかんが  
世界一美しいと  
いわれる射場

【種子島宇宙センター】

そらに広がる  
大きな気球で  
試験するよ

【三陸大気球観測所】

ななめに発射  
赤いラインが  
チャームポイント

【ミューファイブロケット (1号機)】

えんぴつみたい!  
糸川博士が  
生みの親

【糸川博士とペンシルロケット】

こうのとりの  
包む  
大きなフェアリング

【H-IIB ロケット】

タンクの壁は  
アイソグリッド  
構造なり

【N ロケット】

にほん人も  
宇宙で  
活躍する時代

【宇宙飛行士】

おいつけ世界へ  
空の日本実験棟

【きぼう】

さあ空へ!  
日本で最初に  
できた射場

【秋田ロケット実験場】

ちいさいけど  
地球をながめた  
最初のロケット

【カッパロケット】

ぬけだせない  
光はどこへ  
ブラックホール  
観測衛星

【あすか】

かんせい  
誘導装置が  
初の国産化

【HI ロケット】

ジョイントのJ  
日本の技術を  
合体させた  
ロケットだよ

【J-1 ロケット】

つよい光と  
あつい熱  
放つ太陽  
観測衛星

【ようこう】

ねんりょうタンク  
オレンジ色の  
断熱材

【H-II ロケット】

# 日本の宇宙開発は、国分寺市で始まった

1955年4月12日、日本の宇宙開発は、糸川英夫博士が、国分寺市本町一丁目にある新中央工業（現在の早稲田実業学校）で行った、長さ23センチのペンシルロケットの発射実験から始まった。

2010年、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が、世界で初めて小惑星のかけらを地球にとどけるサンプルリターンを成功させた。その小惑星の名前は「イトカワ」と名付けられた。さらに、小惑星「イトカワ」にある岩の一つは、「国分寺」と呼ばれている。

そして、2014年12月、H-IIA ロケット26号機によって、小惑星探査機「はやぶさ2」が打ち上げられた。「はやぶさ2」は、2020年、小惑星「RYUGU」からのサンプルリターンをする予定だ。



1955年

糸川教授とペンシルロケット  
画像：JAXA

2005年



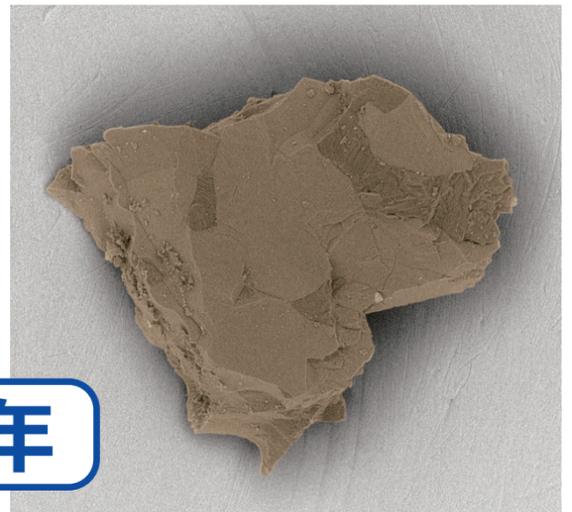
2005年11月、「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」にタッチダウン CG  
画像：JAXA



2003年5月、小惑星探査機「はやぶさ」/M-V ロケット5号機の打ち上げ  
画像：JAXA



小惑星「イトカワ」 画像：JAXA

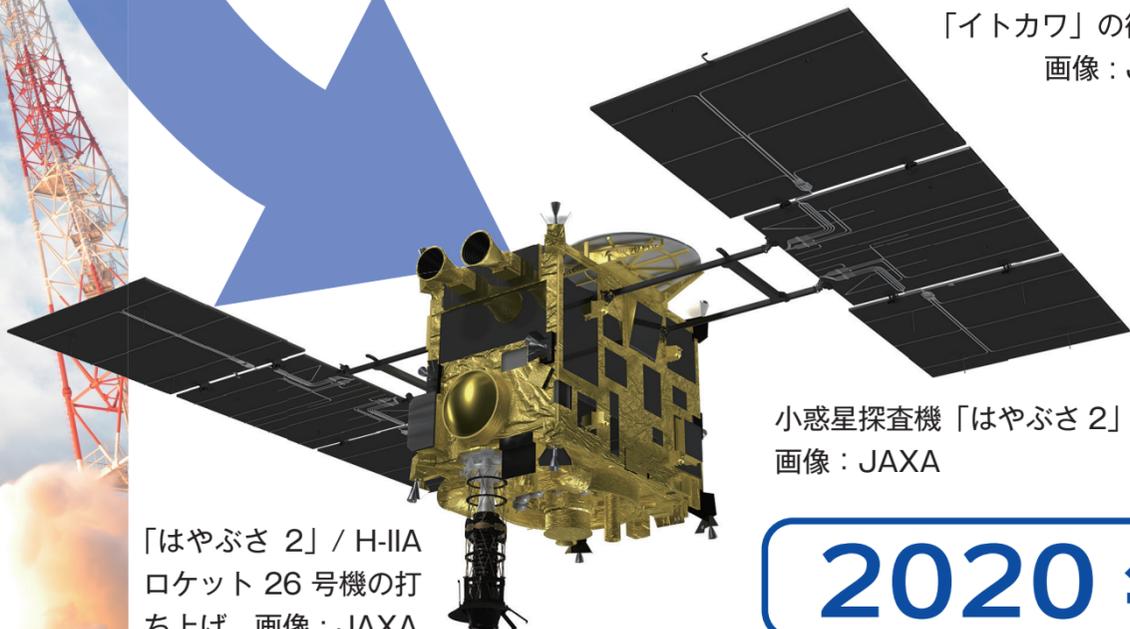


地球にとどけられた小惑星「イトカワ」の微粒子  
画像：JAXA

2010年



「はやぶさ2」/H-IIA ロケット26号機の打ち上げ 画像：JAXA



小惑星探査機「はやぶさ2」CG  
画像：JAXA

2020年